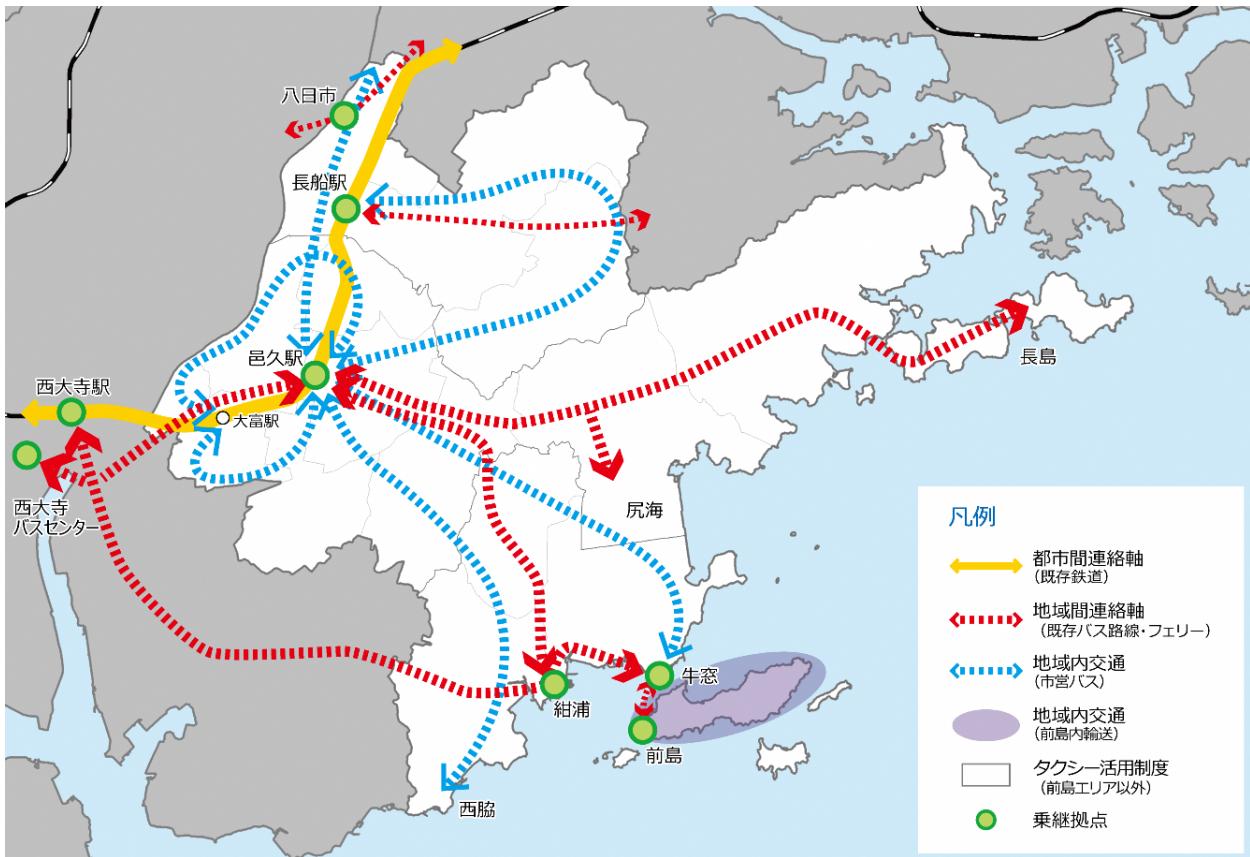




# 公共交通網の将来像と関係する輸送資源



公共交通網の将来像	交通機関	対象路線	役割
都市間連絡軸 ←→	鉄道	J R 赤穂線	他都市との広域移動と市内の一部の移動を担う都市間連絡軸として位置付ける。
地域間連絡軸 ←→	路線バス	牛窓(邑久駅・北回り)西大寺線 牛窓(神崎・南回り)西大寺線 虫明・長島愛生園線 国道2・250号線 東鶴山線	既存バス路線は、集落と市内の鉄道駅、岡山市の交通結節点への移動を担う地域間連絡軸として位置付ける。
	フェリー	前島フェリー	本土と前島住民の移動を担う地域間連絡軸として位置付ける。
地域内交通	市営バス	牛窓-邑久駅線 西脇-邑久駅線 美和線 大富-邑久駅線(南) 大富-邑久駅線(北) 長船北線	公共交通不便地域において、自家用車で移動できない高齢者等の買物、通院利用を前提として鉄道、路線バスを補完するものに位置付ける。 運行区域に近い駅やバス停(乗継拠点)、地域の拠点となる場所で乗継ぎを行う。
	前島内輸送	—	—
	タクシー	—	鉄道や路線バス、市営バス等の地域内交通が運行していない曜日や時間帯の需要や、きめ細かいサービス需要に対応する交通として位置付ける。 公共交通不便地域において、タクシーを利用する際に運賃の一部を助成する。(タクシー活用制度)

関係する輸送資源	役割
自治会輸送	自家用車で移動できない高齢者等の買物、通院利用を前提として鉄道、路線バス、市営バス等を補完するものに位置付ける。
スクールバス	小・中学生の通学利用を最優先に運行する。
福祉有償運送 介護タクシー	要支援認定や要介護認定を受けるなど、他人の介助によらず移動することが困難であると認められ、かつ単独でタクシー等の公共交通を利用することが困難な人を対象とする。
その他	上記の他に、レンタサイクル等も末端手段として位置付ける。

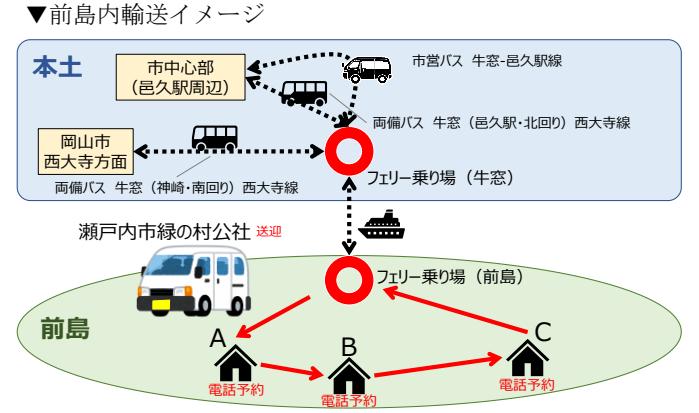
# 主な事業

## 事業2 市営バス利便性向上事業

- 意見交換会を通じて把握した利用者意見、利用実績等をもとに、運行経路、ダイヤ等の見直しを行う。

## 事業3 地域内交通導入事業

- 前島住民(主に自家用車を保有しない高齢者)を対象として、自宅とフェリー乗り場(前島側)の移動に利用できる地域内交通を新たに導入する。
- 将来的には、前島を訪れる観光客等も利用できる仕組みを検討する。



## 事業4 タクシー活用制度利便性向上事業

- アンケート調査やヒアリング調査により把握した利用者意見、利用実績等をもとに、制度の見直しを行う。

## 事業5 利用環境改善事業

- 現在発行している公共交通マップ、市営バス利用の手引きを引き続き発行する。
- 乗継割引、エリア乗り放題、高齢者優待サービス等、路線バスを含めた市内の移動手段の利便性向上につながる運賃施策を検討する。

▼市営バス利用の手引き

▼瀬戸内市営バス1日乗車券

**瀬戸内市営バス 1日乗車券**

発行当日に限り有効

令和2年11月02日

- ◆瀬戸内市営バスの全路線で何處でも利用できます。
- ◆降車の際に乗務員にご提示ください。
- ◆他人に譲渡することはできません。
- ◆再発行はしません。

## 事業7 観光産業等と連携した公共交通サービスの整備・利用促進事業

- ① タクシーツアーの造成と販売促進
  - 瀬戸内市および周辺市町を周遊するタクシーツアーの造成を行い、販売促進を行う。企画検討・実施に当たっては、岡山県、周辺市町と連携を図る。将来的には観光MaaS対応を目指す。
- ② 公共交通を利用した観光ルートの開発と販売促進
  - 地域住民、地域組織、観光協会等と連携し、公共交通を利用した観光ルートの開発と販売促進を行う。

## 事業9 近未来技術活用事業

- 自動運転、MaaS等近未来技術の実装に向けて、実証事業を検討する。
- 貨客混載、買物代行サービス、AI共同配車等事業者の生産性向上に資する事業についても検討する。

